

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

3 つ の 目 的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

3月号／2010年3月1日発行

2月新春特別公開例会

演題「サンシャインいわき」のまちづくり いわき市長 渡辺敬夫氏

平成22年2月16日(火)P.M.6:30～ いわき市総合保健福祉センター



アメリカからの経済危機で全世界的な経済不況のもと、いわき市の決算も平成20年度は法人市民税が赤字となり平成21年度予備費より7億円充当しました。平成22年度の財政状況も厳しく、中期財政計画も予定通りにはいっていないが、財政改革・聖域なき改革に取り組み、中期財政計画は下まわっても、何とか計画通りにいくのではないかと思っています。

昨年は、本社を川崎よりいわき市に移転した東洋システムの庄司社長さんが企業家表彰として日本の代表に選ばれるなど、明るい話題がありました。

また箱根駅伝で大活躍した柏原選手は、いわき市のPRと認知度を高めた功績が認められ市民栄誉賞を受賞されました。いろいろな政策展開をしていますが、彼の活躍は大いにいわき市の認知度を高めてくれました。

2月14日に開催しました「サンシャインマラソン」は、選手の皆様をおもてなしの心で、そしてオールいわきの精神で盛り上げました。

今回のサンシャインマラソンの評価は85点位です。市民の皆様の応援、ボランティア団体の方々、いわき市民のあたたかさを感じました。反省材料は、いわき市役所がオール市役所になってしまいました。3年事業で始

まりましたので、国体並にしなくとも、組織として行政が一番オールになっていなかったと言われない様にしていきたいと思います。

今年は平駒前南口広場が3月25日にオープンし、石炭化石館のリニューアル、四倉「道の駅」のオープン、市民の皆さんのが求めていたものが次々に充実されてきています。市政は継続であり、歴代市長のやってきたことが実を結



左から吉田泉さん(2/12生)、山口弘之さん(2/26生)、寺主代表幹事代行、久野貞明さん(2/8生)、見上寛幸さん(2/17生)

び整備されてきました。

昨年私は選挙に際し、皆さんとのお約束した中で特に緊急課題が二つありました。

一つは経済雇用対策です。平成20年度でいわき市は130億円、今年度はトータルで130億円、参考に福島は110億円、郡山100億円、会津若松50億円です。いわき市の経済雇用対策は全体的な取組をしています。その中で1番大きいのは国からの経済雇用対策で、突出しているのは中小企業への融資制度が経営の下ざさえになる為、この金額が他の県内のどの市より突出している数字になっています。今年度は2月19日から臨時議会がありますが全部雇用対策であり、新年度も重要な案件として継続してやっていきたいと思います。

二つ目は、共立病院の再構築であります。4月の新年度に向け、共立病院を市民の命を守る病院にすることです。非常に難しい事ですが、私自身の考えはハッキリしています。まずは共立病院の建て替え、高度医療の充実、有識者の皆さんにご検討をしていただき、受皿を作り新たな行政経営部に部内室をもうけて人選を含めて議論していくことです。これから経営体は、独立行政法人も一つの考え方でありますが、今の状況では、高度医療を行っていないのに赤字になっている状態です。行政側からは、政策医療、市民の為に赤字の部分は市が病院経営をやるのが当然の事、通常の部分の所は、独立して経営をやって下さい、という医療従事者の意識を改革することです。郡山市の南東北病院と比較して医療従事者の考え方の違いがあります。この意識改革をしっかりとやっていくことが大切だと思っています。

私は医師の確保の為、東北大学医学部、福島医科大学に挨拶に行きました。現在、共立病院では東北大学医学部出身が50%、福島医科大学が20%、2校で70%を占めています。明日、また診療科が一つなくなるのは現実の問題で、医師の確保はしっかりとしなければならないと思っております。この問題について3年間をかけて基本構想を作り、もし3年間でできない時は、市長職は1期だけしかやらない覚悟です。この強い決意で病院改革をやってまいりたいと思います。

さて、行政の在り方の中で、現場を一番知っているのは支所であります。支所長に権限と財政を賦与し、22年度より試行的に行っていきたい。今、地方分権より地域主権に変わってきています。いわき市自身が自己決定、自己責任で与えられた財源の中でやっていく時代なのです。運営の仕方によっては、都市間で格差が出てきますし、いわき市の中においても、それぞれの地域の格差がでてきます。その為、行政の支所長はしっかりと自分の地域作りをどのようにすべきか、地域の皆様と共同作業で地域作りを考えいかなければなりません。

事業の立ち上げの指示には、下から事業、地域作りの所にはしっかり財源を含めてのサポートをしていきます。それが、共同作業だと思っております。今、県はサポート事業を含めて3年で打切り、5年で本物になれば継続して行こうとしています。

豊かな地域作り、商店街の地域振興を含めてしっかりやって行きたいと思います。

平商連が「頑張っている商店街707選」の中に選ばれました。若手の会長さんをはじめ、老舗の商店主やいろいろな方面の人達の集まりに、何度も呼ばれて「市長は、何を考えているのか！」と、言われました。本来3年の事業が逆に2年で結構、3年目から我々は独立して商店街

の振興策をやっていきます。私は3年を5年に伸ばしてもいいのではないか、と思っていましたが、平商連の皆様が取り組み、商店街の活性化に努力して実戦しているいくつもの商店街がある訳ですから、一生懸命やっている所には、サポートします。ただの補助だけではダメです。なぜなら補助がなくなればすぐダメになってしまうからです。

いわき市は、15市町村が合併し発足しました。それは対等合併であり、そのため同じ物を作らざるを得ませんでした。しかし、40年が過ぎ今後は特徴ある地域作りをして、それがいわき市の発展に繋がると思います。これからは支所長に一部の権限と財政をゆだね、地域作りと振興策を計っていきます。

総合計画は、20年スパンで作っておりますが、来年度、後期総合計画を策定しなくてはなりません。そして12月の議会で了承を得なければなりません。

環境にやさしい町づくり、地産地消の町づくり

これからは、環境問題なしでは考えられません。

地産地消は農産物だけでなく、財政も税金を納めていたり回る展開。また、これからは経営の下ざさえをしっかりとサポートしていきます。もう一方、政策としては、「文化」と「スポーツ」「観光」と「交流」「物流」この五つをセットにして考えていきます。

一昨日のアリオス「コバケン」コンサート、「サンシャインマラソン」の大盛況、いわきのホテルは満室で取れない状況がありました。文化、スポーツが観光振興になり、いわき市の文化、スポーツが経済の振興につながっています。物が動かないところに、経済の発展はありません。私がやることは、小名浜港よりコンテナを1つでも多く出してもらうことです。現在、福島県からは10%、大半の90%は京浜からのものです。後10%増やしただけで、航路が一つ増えます。小名浜港を、国で言っている103港から40港の中に押し上げる努力をしていかなければなりません。今、あげた五つの分野をトータルでやっていくこと。ブランド化を作ること。水産加工でいえば、行政でやるのは第三セクターでもいいから、目光加工を大々的にやるシステムがない。だから、ブランド化につながっていない。これからは、農工商、ブランド化して商品として販売していくことが6次産業であります。この6次産業をこれからのいわき市では力を入れていく分野ではないかと思います。

今後は、地域作りにしましても、今までと同じ作り方はしません。金太郎飴的にはしません。地域行政だけでなく市民の皆様と一緒になり、単独でありえない事業、トータル部分で生産展開をしていきたいと思います。結果、いわき市の特徴がでてくるのではないでしょうか。

これからは、第6次産業みたいな発想でやっていくことが、「サンシャインいわきの町づくり」に繋がっていくと思われます。いわきの特異性、日照時間の長さ、長さばかりではなく、ブランド化をし、これから新たな産業を見つけだしていく時、前向きに太陽とひまわりの関係を作っていくなければならないと思います。市民の皆様と一緒になり向き合って、「サンシャイン」の町づくりをしっかりやっていきたいと思います。

今後共、経済界の皆様には大変お世話になりますので、どうか今まで以上のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

本日は、いわき市政の一端を述べさせて戴きました。

ありがとうございました。

2月グループ会報告

人材育成研究グループ会

■日 時 2月24日(水曜日)18:30~

■場 所 いわき建設会館

■内 容 2月度CS研究会はいわき建設会館にて、今年度の活動をもとに具体的に何を行うのか一つひとつ研究内容を行動面に置換え、且つその内容に加えることがないのかディスカッションいたしました。

今までの研究内容からやるべきこととして33項目をピックアップいたしました。

具体的には①マナー(お客様に対しての行動面) ②社員育成・指導 ③トラブル対応 ④会社としての行動指針 ⑤取引先との関係等

追加事項として電話対応やクレーム対応や環境づくりがあがりました。



経営品質向上グループ会

■日 時 2月25日(木曜日)19:00~

■場 所 いわき建設会館 5F会議室

■内 容 「CRS(消費者から見た、企業の社会的責任を果たす活動)について」

- ・講師:東京海上日動火災保険(株)いわき支社長 島崎様
- ・CRSは経営品質の基本理念(顧客本位・独自能力・社員重視・社会との調和)の中の社会との調和に該当します。
- ・CRSとは、企業活動における利益追求のパフォーマンスを高めることのみを目的とした意識では、継続性のある事業の発展を推進していくことは難しく、企業は、環境面や社会面などを含めた企業を取り巻くいくつかの側面からもお互いの発達・発展を目指していくという考え方。
- ・ビデオ学習(七福醸造の取り組みについて)



人材交流グループ会

■日 時 2月23日(火曜日) 18:30~

■場 所 いわき建設会館

■内 容 会員企業紹介または、外部団体・組織との意見交換会⑥

(担当:黒須副グループ長)

株式会社損害保険ジャパンいわきサービスセンター課長 石橋智浩氏による、

「リスクマネジメントによる企業の危機管理」の講演及び意見交換会を行いました。

企業経営のなかに潜在するリスクを洗い出し、きちんとした対策を行うことの重要性を学びました。後半は質問が集中するなど、参加者にとって大変有意義な講演になりました。



経営戦略グループ会

■日 時 2月15日(月曜日) 9:30~

■場 所 東洋システム株式会社(いわき市佐糠町)

■内 容 2月の第3グループ(経営戦略グループ)は、先進企業訪問を実施いたしました。いわき市佐糠町にあ

いわきブランド研究会

■ 日 時 2月19日(金曜日)

11:00～

■ 場 所 いわき新舞子

■ 内 容 いわきの美味再発見！食彩樂園 食べるんピックへの参加と「常磐いわき潮目の魚」を地域ブランドにしよう！をテーマとしたパネルディスカッションの開催

いわき新舞子ハイツにおいて、いわき海食再発見プロジェクト主催による「食べるんピック」が大勢のお客様をお迎えして開催されました。開催の目的は、市内の地域を生かした生産品及び名産品の地場産品を使用した個性豊かなメニューや郷土料理を提供し、地場産品の消費拡大と産品製造会社等の商品をPRすることによる“いわきの美味再発見”と地域の魅力を発信するをテーマに多数の創作料理・郷土料理が提供され地元ならではの味覚を堪能しました。

この度の開催にあたり、当いわきブランド研究会武藤会長の提案によるシンポジウムの開催を申し出たところ主催者側より快諾を得、いわき経済同友会が共催する運びとなりました。司会進行を当会員の小松ひと美さんにお願いしパネルディスカッション形式で進められました。

冒頭 寺主代表幹事の挨拶の後、武藤会長がコーディネーターを務め産学官より水産関係者5名のパネリストをお招きしそれぞれの立場よりお話を頂きました。

3月グループ会ご案内

- 人材育成研究グループ会／3月25日(木) PM6:30～ だいこん家 解散会
- 経営品質向上グループ会／3月24日(水) PM6:30～ 割烹一平(小名浜) まとめグループ会
- 経営戦略グループ会／3月11日(木) AM9:30～ ホテル美里 まとめグループ会
- 人材交流グループ会／3月24日(水) PM6:30～ イタリア料理トラットリアグストーソ まとめ会
- ビジネスマodel研究会／3月25日(木) PM6:30～ イタリアンコート まとめ研究会

会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

3月まとめ例会開催のご案内

3月17日(水)

○会費/3,000円
○会場/八幡台ーやまたまやー

通常例会、グループ会報告、各委員会、事務局検討委員会、ホームページ検討委員会
まとめ例会懇親会 19:10～

18:30～

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます
●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発 行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事代行 事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
編 集 情報委員会 委員長 山名二郎
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭・山崎勇喜

当会員である一平の女将長谷川雅子さんにもパネリストとして参加いただき料理提供者側の立場より地魚とブランド化についてお話を頂きました。

今回、パネリストとしてご参加いただいた方々は次の通りです。



合 同 入 社 式 及び 第23回会員企業社員研修会開催のご案内

会員企業社員研修会を下記の通り開催します。

1. 日 時 4月5日(月)午前9時30分～午後5時
2. 会 場 いわき建設会館 5F会議室
3. 対象者 会員企業全社員向け
4. 講 師 岩尾 英子(オフィスI・N・C)
5. 会 費 2,000円(資料・昼食代を含む)

*準備の都合上、出欠のご回答は3月23日(火)までにご連絡ください。